



カケハシ・プロジェクト（米国）沖縄プログラム派遣第1陣 （名護高等学校・那覇国際高等学校）の記録

1. プログラム概要

【目的】本プログラムでは、沖縄県の高校生が米国を訪問し、マサチューセッツ州での現地総領事館への訪問や、企業視察、現地学生との交流を通じて、日米両国の友好・信頼関係を深め、米国の文化や社会に触れるとともに、プログラム中の体験や交流から得た学びや気づきを積極的に発信することを主目的として実施しました。なお、沖縄プログラムは日米両国の高校生による相互交流プログラムです。

【参加者】 沖縄県の高校生及び学校関係者 計 20 名
沖縄県立名護高等学校の生徒 9 名及び引率者 1 名
沖縄県立那覇国際高等学校の生徒 9 名及び引率者 1 名

【訪問地】米国 マサチューセッツ州ボストン、ウエストン

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10 月 10 日（火曜日） 【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等

■ 訪米プログラム：

10 月 25 日（水曜日） 成田国際空港及び羽田空港より出国、ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港（マサチューセッツ州ボストン）より米国入国

10 月 26 日（木曜日） 【オリエンテーション】
【企業訪問】Food's Style USA Inc.
らーめん山頭火 ボストン・ハーバードスクエア店 店長 塩野谷 翔太 氏
【視察】マサチューセッツ州会議事堂、フリーダムトレイル（ボストンコモン、パークストリート教会等）、クインシーマーケット

10 月 27 日（金曜日） 【学校交流】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストン

【ホームステイ】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの生徒の家庭

10 月 28 日（土曜日） 【ホームステイ】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの生徒の家庭
【視察】ハーバード大学、ハーバード広場

【学校交流】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストン

10 月 29 日（日曜日） 【学校交流】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストン

【ワークショップ】報告会準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国

後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

- 10月30日（月曜日） 【報告会】アクション・プラン発表
 【歓送会】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストン
 【訪問】在ボストン日本国総領事 鈴木 光太郎 氏
- 10月31日（火曜日） ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港（マサチューセツ州ボストン）より出国
- 11月1日（水曜日） 成田国際空港及び羽田空港に入国

2. 記録写真

派遣プログラム

	
10月26日【オリエンテーション】	10月26日【視察】マサチューセッツ州会議事堂
	
10月27日【学校交流】ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストン	10月28日【視察】ハーバード大学
	
10月29日【学校交流】寮生とのランチ	10月29日【ワークショップ】

	
10 月 30 日【報告会】成果報告	10 月 30 日【訪問】在ボストン日本国総領事 鈴木 光太郎 氏

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

カケハシ・プロジェクトでボストンに来る機会を得て、日本と米国の違いを学ぶことができました。米国は全てが大きく、スケールの違いを実際に見て感じる事ができました。滞在中の経験をいろいろな人に共有したいと思います。

◆ 高校生

ホームステイ先ではホストファミリーに大変親切にしてもらいました。とても仲良くなったので離れるのは非常に寂しいですが、これからも連絡を取り合いたいと思います。

◆ 高校生

ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの生徒と一緒に授業に参加し、米国と日本の高校生活の違いを知ることができました。休憩時間にはスポーツの話やアニメの話をして情報交換をしました。米国に同年代の友人ができてとても嬉しいです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

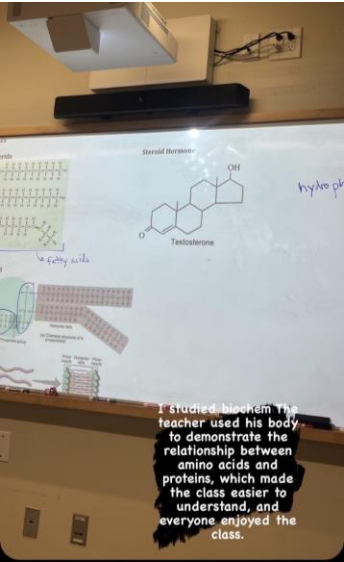
◆ 学校職員

沖縄の高校生と大変有意義な交流ができました。自校の生徒たちにとっても、日本の生徒たちと友情を深め、視野を広げることができた良い機会となりました。校内の生徒たちも来年 3 月に沖縄の学校を訪問することを非常に楽しみにしています。

◆ 交流先生徒

日本の高校生と交流ができてとても楽しかったです。話をしたことで日本と自分の学校生活の共通点も相違点も発見でき、大変有意義でした。来年の 3 月に沖縄に行き、今回出会った友達との再会を楽しみにしています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2023 年 10 月 26 日（Instagram） ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンでのプレゼンテーションに向けて最後の練習をしました。	2023 年 10 月 29 日（Instagram） 明日の報告会での発表に向けてワークショップを行い、沖縄に帰った後のアクション・プランを作成しました。
 I went to see Harvard University with students from Cambridge School of Weston. We were divided into several groups, including Naha National students, Nago High School students, and Cambridge School of Weston students, and took a walk around the campus, which is very large and has beautiful autumn leaves. Current student. There were many customers, and I was able to feel once again the fame and splendor of Harvard University. 10/29日曜日 私はケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの学生たちと一緒にハーバード大学を見学に行きました。那覇国立の学生、名護高校の学生、ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの学生と複数のグループに分かれ、とても広くて紅葉が美しいキャンパス内を散策しました。現在の学生。お客さんも多く、改めてハーバード大学の名声と素晴らしいさを感じることができました。	 I studied biochem the teacher used his body to demonstrate the relationship between amino acids and proteins, which made the class easier to understand, and everyone enjoyed the class.
2023 年 10 月 29 日（Instagram） 私はケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの生徒たちと一緒にハーバード大学を見学に行きました。那覇国際高等学校の生徒、名護高等学校の生徒、ケンブリッジ・スクール・オブ・ウエストンの生徒と複数のグループに分かれ、とても広くて紅葉が美しいキャンパス内を散策し	2023 年 10 月 30 日（Instagram） 学校交流の授業体験で、私は生化学を学びました。先生は体を使ってアミノ酸とタンパク質の関係を説明してくれて、とても分かりやすかったです。皆が授業を楽しみました。

ました。お客さんも多く、改めてハーバード大学の名声と素晴らしさを感じることができました。

6. 報告会での訪米成果とアクション・プラン発表

沖縄県立名護高等学校

 Team Nago	What we surprised in the U.S. are ① Homeless ② Reaction ③ Freedom of choice	Why: Because we want our school students to know more about Boston. When: December Who: Our team To whom: Our school students What: 「Homeless people」, 「Reaction」, 「Freedom of choice」 and so on. How: By giving a presentation.
--	--	--

【米国訪問中の学び】

米国ではホームレスが多いことが社会問題であることを学びました。また、学校に校則が少なく服装や髪形が自由であることがわかりました。人々はリアクションが大きく、考え方が前向きで自己表現のできる社会であるとともに、環境保護の意識が高いことにも気づきました。

【アクション・プラン】

- グループ全員で、12月に自分の高校の生徒を対象に、ホームレスや（米国の）人々の反応、選択の自由などについてのプレゼンテーションを行います。
- グループ全員で、11月に中学校の生徒を対象に、前向きな考え方や多様性、環境についてのプレゼンテーションを行います。

沖縄県立那覇国際高等学校

		Content • Regarding the cost of living in America • Sizes in America and Japan • American national character When Within January To whom Our school student How Make posters
---	---	---

【米国訪問中の学び】

- 米国は物価が高く、円安で米国滞在中の自分たちにとってはさらに高く感じました。
- すべてのものが大きいこと、店舗で購入する食べ物の大きさに選択肢が少ないので、フードロスが発生していること
- 米国人は日本人に比べて明るく積極的であること

【アクション・プラン】

グループ全員で、米国の物価高、日米の物の大きさの比較、米国人の国民性等を校内の生徒たちに伝えるためにポスターを作成し、1月に校内に掲示します。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）